

2011年3月29日

News Release

パナソニック電気株式会社
出光興産株式会社

パナソニック電気株式会社と出光興産株式会社による
照明用有機 EL パネル事業合弁会社設立のお知らせ

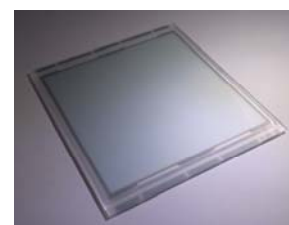
パナソニック電気株式会社(本社:大阪府門真市 社長:長榮周作 以下 パナソニック電気)と出光興産株式会社(本社:東京都千代田区 社長:中野和久 以下 出光興産)は、照明用有機 EL パネルの開発・製造・販売を目的とした合弁会社を設立することを本日決定しましたので、お知らせします。

■合弁会社の設立について

パナソニック電気および出光興産は、照明用有機 EL パネルの合弁会社(以下 新会社)を 2011 年 4 月中旬に設立する予定です。新会社では、両社がこれまで培ってきた設計・製造技術および有機 EL 材料開発力をあわせることで照明用有機 EL パネルを開発・製造します。さらに、高効率で輝度や演色性の優れた高品質の照明用有機 EL パネルを製品として早期に市場投入し、国内外の照明モジュールメーカーおよび照明器具メーカーに対して、グローバルに販売します。新会社は、有機 EL 照明の市場開拓と、同市場における確固たる地位確立に取り組んでいきます。

■新会社の概要

名 称	パナソニック出光 OLED 照明株式会社 (英文名称 Panasonic Idemitsu OLED Lighting Co.,Ltd.)	
所在地	大阪府門真市大字門真 1048 番地	
代表者	代表取締役 社長 鎌田策雄	
事業概要	照明用有機 EL パネルの製造および販売	
資本金等	資本金 1,500 百万円、資本準備金 1,500 百万円	
出資比率	パナソニック電気株式会社	51%
	出光興産株式会社	49%
設立年月日	2011 年 4 月中旬(予定)	
決算期	3 月 31 日	
従業員数	10 名(設立時予定)	



照明用有機 EL パネル

* OLED: Organic Light-Emitting Diode の略

■合併会社設立の背景と狙い

一般家庭や商業施設で消費される電力エネルギーのうち、照明は、エアコンや冷蔵庫とともに電力使用量が多く、現在普及している白熱電球や蛍光灯を、エネルギー効率の高いLEDや有機ELを用いた次世代照明に置き換えることにより、省エネルギー化が図れるものと期待されています。

パナソニックグループは、照明のグローバルメーカーとして、パナソニック株式会社(本社:大阪府門真市 社長:大坪文雄 以下 パナソニック)およびパナソニック電工において、光源(ランプ)から照明用デバイス、照明器具までを自社グループ内で生産し、国内外で販売しています。

パナソニック電工では、住宅向けのほか、商業施設や屋外施設などあらゆる市場に照明器具を提供するとともに、安定器などの照明用デバイス事業にも取り組んでおり、有機EL照明については、LED照明に続く次世代の照明用光源として、1990年代後半から技術開発に取り組んでいます。

出光興産は、1985年に有機EL用発光材料の開発をスタートしました。有機EL関連市場の拡大を見据え、現在では、ディスプレイおよび照明用途向けに開発から製造・販売を一貫して行える体制を構築しています。このような体制の下、顧客ニーズに対応しながら、優れた性能を持つ有機EL材料を国内外に提供しています。

有機EL照明パネル事業に関しては、自社の技術開発力を生かせる事業領域と位置づけ、進出の検討を続けてきました。

パナソニック電工および出光興産は、2007年から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募する委託・助成事業に共同で参画し、照明用有機ELパネルの技術・商品開発において強いパートナーシップ関係を構築してきました。両社で共同開発した有機EL照明パネルは、輝度や効率といった照明品質の総合力において優れた性能を有しており、実用化に向けた最終段階に差掛かっています。

今回の有機ELパネル事業の本格展開により、パナソニック電工は、パナソニックグループの創業100周年ビジョンである「エレクトロニクスNo.1の『環境革新企業』」の実現に向けてさらなる取り組みを加速します。また、出光興産は第3次連結中期経営計画における高機能材事業の基本戦略である「環境配慮型商品の開発強化」と「グローバル展開による事業拡大」を本事業の展開を通じて図っていきます。

《ご参考》

■有機 EL 照明について

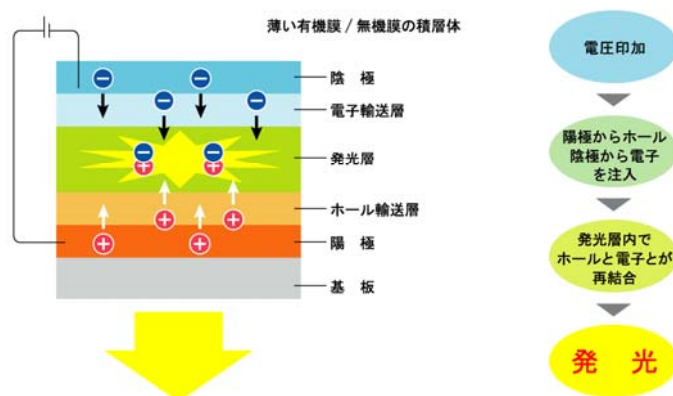
有機ELは、有機材料を発光層に使用した発光デバイスで、直流低電圧で高輝度が得られることや、面状発光により光利用効率が高いことから、理論上は蛍光灯を上回る発光効率や寿命を実現することが可能です。また、水銀などの環境汚染物質を使用しないなどの特長から、省エネで環境負荷が少ない次世代光源として、世界的に研究開発が進められています。

現在、普及が加速している LED 照明が、無機材料による半導体素子を発光体とする点光源として、主に白熱電球の代替用途に適しているのに対して、有機 EL 照明は柔らかな拡散光を発する面光源として、蛍光灯に代わる光源として期待されています。さらに、有機 EL 照明は基板にプラスチックなどを使用することで、発光面を柔軟に曲げることが可能であり、将来的にはデザイン性に優れた店舗照明用途や自動車・航空機などの室内照明用途での利用拡大も見込まれます。

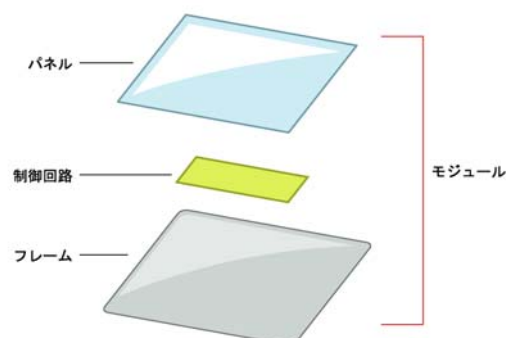
■照明用有機 EL パネルについて

「パネル」とは、ガラスなどの基板に有機 EL 発光層と対向電極を形成して封止した発光部を指します。「パネル」に制御・保護回路や給電部材、フレームを取り付けたものを「モジュール」と称しています。また、「モジュール」を、筐体や建材に組み込んだものを「(照明)器具」と称しています。

有機ELの発光原理



パネルとモジュールの違い



■本件に関するお問い合わせ先

【一般からのお問い合わせ先】

パナソニック電気株式会社 新事業企画室 06-6908-1131 (大代表) 受付(平日のみ)8:50~17:30
出光興産株式会社 電子材料部 企画グループ 03-3213-3244 受付(平日のみ)8:50~17:30

【報道関係からのお問い合わせ先】

出光興産株式会社 IR・広報室 広報課 03-3213-3115

以上